

【令和6年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 赤塚第一 中学校

【 国語 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習へ取り組む意欲や姿勢はおおむね満足できる状況である。</li> <li>・定期考査の結果から、瞬時に課題を把握する力の育成が早急に求められる。</li> <li>・作文においてはタブレット端末を使用することにより、自分の意見を書くことへの抵抗感はない。</li> <li>・特に学習意欲をもてない生徒は、「漢字の読み・書き」への苦手意識が作文・その他の言語活動に波及していることが顕著である。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語に苦手意識をもつ生徒への「漢字の読み・書き」や「語彙力」などの基礎領域を定着させる。</li> <li>・作文・短作文に数多く取り組むことで獲得した語彙を生かし、表現力を身につけさせる。また、生徒同士で読み合いを通して、見識を広める。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文やスピーチ、グループ活動等、タブレット活用を並行しながら言語活動を取り入れ、自分の考えを正確に伝え、情報や相手の話を正しく受け取る機会を多く設ける。</li> <li>・夏季休業等を利用し、補充教室で基礎学力の定着と共にタブレットの基本的な技能向上を図る。</li> <li>・3年生は朝学習の時間を利用して漢字や語句の反復学習を行い、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・1、2年生は朝読書の時間を通して読書を励行し、適宜電子図書館を使用しながら読書率を向上させるとともに語彙力を身に付けさせる。</li> <li>・国語に関する文章だけでなく、あらゆる分野に触れる内容の読解に取り組むことで、図やグラフへの抵抗感をなくし、一般教養も身に付けさせる。</li> <li>・発問の際、文章の構造に関するものに触れ、今後自分で焦点化できる力を身に付けさせる。</li> </ul>

【 社会 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に明るく、素直で、授業に取り組む姿勢もおおむね良い状況である。</li> <li>・多くの生徒が教科に対する興味・関心が高いが、分野によって学習意欲に温度差が見受けられる。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科に対する意欲・関心を高め、自ら学ぶ姿勢を身につけさせ、知識・考え方・技能の定着につなげていく必要がある。</li> <li>・探求心を高め、問題解決力を身に着けさせる。</li> <li>・協同的な活動を取り入れ、共に学ぶ姿勢を持たせる。</li> <li>・資料（史料）・図表の読み取り、資料活用の技能を身につけさせる。</li> <li>・自分の意見を書いたり発表し、思考を深め、かつ表現する力も伸ばす必要がある。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業へ雰囲気づくりを大切に、本時の授業のめあてを明確に伝え、見通しを立たせる。</li> <li>・ICT機器などを活用し、調べ、まとめ、さらに発表する機会を設ける。</li> <li>・話し合いや相談などの活動を通して共に学ぶ機会を設ける。</li> <li>・授業のまとめの部分では、学習の振り返りのための時間をしっかりと確保し、基本的な知識の定着をめざす。</li> <li>・適切なタイミングで小テストやまとめのプリントを実施する。</li> <li>・資料（史料）・図表を読み取る学習の回数を増やす。</li> <li>・地域の資料や名所などを取り上げ、地域から学ぶ姿勢を身に着ける。</li> </ul>

【 数学 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に明るく、素直で、授業に取り組む姿勢も良好な状況である。</li> <li>・計算力に自身がある生徒と計算力に自身がない生徒の差で学習意欲に差があるが、計算力に自身がない生徒も教え合いの中で、粘り強く学習に取り組んでいる。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業全体で、知識と技能が身につくように計算の時間を多く確保している。</li> <li>・一方で日々の積み重ねから躓く内容に個人差があり、なかなか技能の習得に時間がかかる。</li> <li>・思考力や判断力、表現力を身に付けるために、既習事項から文章を数式で表現する力や数式を言葉で説明する力を授業で養うこと課題がある。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協同的な学習活動を取り入れて、共に学ぶ姿勢を持たせる。</li> <li>・図表の読み取り、資料活用の技能を身につけさせる。</li> <li>・授業へ雰囲気づくりを大切に、本時の授業のめあてを明確に伝え、見通しを立たせる。</li> <li>・ICT機器などを用いて、事象を文章だけでなく、イラストや図でわかりやすく提示する。</li> <li>・授業のまとめの部分では、学習の振り返りのための時間をしっかりと確保し、基本的な知識と技能の定着をめざす。</li> <li>・適切なタイミングで小テストやまとめのプリントを実施し、自己の学習態度の振り返りを行う。</li> <li>・主体的に学習に取り組む態度を養うために、数学の学習内容が普段の生活とどのように結びついているのか明示し、生徒の学習意欲の向上につなげていく。</li> </ul>

【 理科 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心をもって授業に向かう姿勢がある。</li> <li>・前向きに学習に取り組もうとする生徒が多い。</li> <li>・どこに問題があるのかを見付ける力が不十分である。</li> <li>・実験結果を予想し、それを検証すべく実験に取り組み、結果から考察した新たな概念を身に付けるというサイクルを通し、周囲とのコミュニケーションや自分の考えを深めることができる生徒も出てきている。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の現象や具体物をイメージさせ、それらがどのような科学的法則に則っているかを理解させること。</li> <li>・新たな課題を考えるときには、以前の学習で得た概念を用いて考えさせること。</li> <li>・自分の考えを持ってない生徒に持とうとする姿勢を身につけさせること。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は、基本的な事柄を押さえることに重点をおいている。生徒にとって身近な現象や具体物を示しながら実験の手順を説明するなど、イメージをつくりやすくする。</li> <li>・学習した内容と現実の科学技術との関連、応用を紹介し学習の広がりを感じさせる。</li> <li>・仮説→検討→実験→考察のサイクルを行うことで、引き続き思考力、表現力、コミュニケーション能力の育成を図る。</li> <li>・ICTを効果的に、取り入れつつ、生徒が主体的に活動できる授業を工夫する。</li> </ul>

【 音楽 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・パート練習では主体的に取り組める生徒と集中力が続かない生徒がいる。</li> <li>・鑑賞では学年が進むにつれて深い聞き取りができるようになり文章で表せるようになるものも多い。</li> <li>・楽譜を読み取るというより歌詞や音を聞いて覚えて歌唱しようとする生徒が多い。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習・練習のねらいに対する理解度に差がある。</li> <li>・鑑賞ワークシートなど、文章表現が苦手な生徒が各クラス一定数いる。</li> <li>・曲の内容を読み取ることが難しい場面があり合唱を作るのに時間がかかる。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に課題に取り組めるように、焦点化したねらいの提示、成果の発表・励まし等を行う。</li> <li>・パート内での意見交換を活発にさせ教え合いを大切にする。</li> <li>・興味を引く映像教材等の充実を図り、ワークシートの工夫をする。</li> <li>・楽典で習ったことが実際に演奏する際の読譜につながるよう日々の活動の中で絶えず説明をしていく。</li> </ul>

【 美術 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材に興味をもち、意欲的に制作する生徒が多い。</li> <li>・より良い物を作ろうと発想を広げ、粘り強く取りむことが苦手な生徒が多く、作業的に制作を進めてしまう生徒がいる。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のめあてを明確にし、ポイントをしっかりと把握させること。</li> <li>・手順を踏まえて、制作に見通しをもって作業を進められるようにすること。</li> <li>・生徒同士の気づきや共働的な学びを通して発想を広げ、創意工夫をより追求させること。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のめあてに対して個々にめあてを設定させる。自力解決や集団解決を授業の流れに組み込む。</li> <li>・動画や資料を提示して、制作の具体的なイメージをもたせ、計画的な作業ができるようにする。</li> <li>・生徒にとって身近な題材を設定し、調べたことやアイディアスケッチの交流、制作途中の交流など、生徒同士で発想の広げ方や表現方法を発見させ、制作の意欲や表現の幅を広げる。</li> </ul>

【 保健体育 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に規律正しく行動することができ、競技に意欲的に取り組む生徒が多い。</li> <li>・水泳など、特定の競技で消極的な態度が見られる。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技によってはけがの危険があり、生徒自身でけがを予防したり、自己の能力に見合った課題に取り組んだりする力を高める。</li> <li>・男女共習で技能に大きな差があるため、個々の生徒が意欲的に取り組めるよう、学習内容や技能テストの精査が必要である。</li> <li>・教科書等のグラフや統計を読み取る力(思考力)を高める必要がある。また、自分の考えを書いたり発表し、表現する力も伸ばす必要がある。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操を入念に行うとともに、ペア学習で技能を把握し合う。様々な場や技能別の内容を設定し、生徒自身で選べるようにする。</li> <li>・基礎的な技能が習得できるように指導し、能力別にチームを作ったり、教具を工夫して成功体験を積み重ねる。</li> <li>・保健の授業で教科書等を活用して読み解く力を高めるとともに、体力テストのデータを用いて振り返りを行う。班活動等を行って考えを深めるとともに、表現する場を設ける。</li> </ul>

【 技術家庭 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの操作が身についてきている。</li> <li>・実習や実験などに興味をもって取り組む生徒が多い。</li> <li>・授業に集中できない生徒がいる。</li> <li>・宿題に対して主体的に取り組めていない。</li> <li>・ノートの活用が十分でない。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業進度の差が出たときの対応の仕方について。</li> <li>・作業手順や、作業のポイントの指導の仕方。</li> <li>・感染症対策を考慮した協働学習の導入の仕方。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用した授業を継続して行い、更に視覚的にわかりやすい教材の工夫をする。</li> <li>・学んだ知識や技術と生活との関連を理解させることで、自分なりの工夫や改善ができるようにする。</li> <li>・ものづくりを通して、創造する力を養う。</li> <li>・実用性の高い教材を扱うことで、意欲的に物作りの活動をさせる。</li> <li>・思考力、判断力、表現力を育むために、考える時間や自分の考えを書く時間を適切に位置づける。</li> </ul>

【 英語 】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に英語の言語活動に取り組む生徒が多い。</li> <li>・生徒の中には苦手意識を持ち難易度の高い課題に積極的になれない生徒もいる。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能5領域の指導の工夫</li> <li>・各個人にあった課題を粘り強く取り組む工夫</li> <li>・視覚的効果などを用いて生徒たちの興味や関心を引き出す指導の工夫。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」「話すこと」の能力を伸ばす授業を実施する。</li> <li>・『ねらい』の提示と『振り返り』を行い自らの取り組みを確認し、学びを深化する機会を設ける。</li> <li>・一斉指導の中でも個別指導の機会をつくり、定着度を確認、自ら課題を解決しようとする自立学習を支援する。</li> <li>・ICTを活用し生徒の興味を引き出し、楽しく力がつく授業を展開する。</li> </ul>